

# 一人ひとりが大事にされる

2015. **8.29** SAT  
14:00 → 16:30

入場無料

事前申込みは  
必要ありません

される  
新たな災害復興法を目指して

―― 原発災害はなぜ不均等な復興をもたらすのか――

会場 ■ 郡山市総合福祉センター 5F 集会室  
(住所：福島県郡山市朝日 1-29-9)

主催 ■ 一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会

後援 ■ 特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島、  
一般社団法人パーソナルサポートセンター

お問合せ ■ 一般社団法人パーソナルサポートセンター

[tel] 022-399-9662 [fax] 022-224-1621

プログラム 司会 / 鴻巣 麻里香 (精神保健福祉士 / 「KAKE COMI」代表)

開会あいさつ 丹波 史紀 (一般社団法人ふくしま連携復興センター 代表理事)

## 第一部 講演・現状報告

- 除本 理史 (大阪市立大学大学院教授)  
原発災害がもたらす不均等な復興
- 渡辺 淑彦 (弁護士 / 福島県弁護士会 原発事故対策プロジェクトチーム委員長)  
原発災害からの被害回復に必要な支援
- 遠野 馨 (NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島)  
被災したシングルマザーと子どもたちのためのレスパイトケア

## 第二部 当事者報告

## 第三部 リレーコメント

- 平岡 路子 (弁護士)
- 鴻巣 麻里香 (精神保健福祉士 / 「KAKE COMI」代表)
- 菅野 拓 (一般社団法人パーソナルサポートセンター 理事)
- 新里 宏二 (一般社団法人パーソナルサポートセンター 代表理事)
- 津久井 進 (阪神・淡路まちづくり支援機構 事務局長)

閉会あいさつ 阿部 知幸 (一般社団法人 SAVE IWATE)

(以上、敬称略)

## 「一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会」について

現在の災害関連の法律は、被災者の暮らしが大事にされておらず、新たな法整備の必要性を訴えるために発足。被災者一人ひとりの視点に立った「一人ひとりが大事にされる災害復興法」の制度化に向け、活動をしています。

【共同代表】津久井 進 (阪神・淡路まちづくり支援機構 事務局長)

新里 宏二 (弁護士 / 一般社団法人パーソナルサポートセンター 代表理事)

丹波 史紀 (一般社団法人ふくしま連携復興センター 代表理事)